

# 油屋町くんち瓦版

編集担当 山之内 宏一

平成28年8月20日

## 川船が帰ってきた！

### 囃子の船上練習も始まる

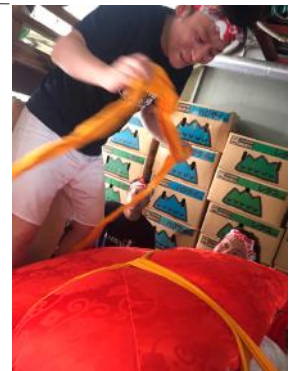


川船を造船所へ運ぶ根曳き

八月七日 油屋町に川船が七年ぶりに帰ってきました。今年の六月二十六日に七年前のくんちで傷んだところを直すために、油屋町川船は収納されていた長崎伝統芸能館から長崎市古河町にある岡田造船所に体力作りを始めたばかりの根曳きたちによって運ばれました。あれから四十三日目、あの時とは違うトレーニ



ングで鍛えられた根曳きたちに曳かれて川船は油屋町に帰ってきました。早速、金光教のガレージで小鐘、大鐘、メ太鼓、大太鼓、船頭用の座布団、大太鼓用の座布団を取り付けました。七年前のことはもう忘れていくように、経験している根曳きも総監督に楽器の付け方を聞きながら初参加の根曳きたちと一つ、一つ楽器を付けていきました。大太鼓の囃子



この紐こうするんだつけ



総監督の松尾小太郎さんに鐘の取り付け方を聞いている根曳きたち。

が座る大座布団の取り付けには根曳きたちも苦労していました。周りには近くに住んでいる囃子の子供もみってきています。十一時に金光教から川船格納庫の横に設置された祭壇の前に川船を移動させました。練習の安全無事、奉納の成功を祈って、川船、格納庫のお祓いをしていただきました。それから、自治会長、船頭、長采をはじめ、根曳きも含めて、お祓いを受けました。根曳きたちに曳かれて、川船は無事に格納庫に格納されました。八月八日からは囃子

の子供達が船に乗って囃子の練習をする、船上練習が始まります。

